

平成27年度 第3回「ともに考えよう まちづくりミーティング」

平成27年10月3日（土）18時30分～

小立野公民館 3階ホール

小立野、崎浦、田上（校下・地区）

(1) 市長あいさつ

【山野金沢市長】

皆さん、こんばんは。

土曜日の夕方、しかも気候がいいこの時期ですから、それぞれの地域で日中さまざまな行事があったと思います。お疲れのところをたくさんの方にお越しいただきまして、心から感謝を申し上げます。

今回は、小立野、崎浦、田上、この3校下、地区の皆さんにお集まりいただきました。言うまでもなく、文教地区として金沢市内においても大変名高い地区だと思っています。

平成25年2月に重点戦略計画というものを発表させていただきました。これは、今申し上げました平成25年度も含めた向こう10年間、金沢市が取り組んでいく具体的、個別的な課題をまとめたものであります。もちろん、これから議会の皆さんの議論であったり、予算の裏づけであったり、まだ決まったものではありませんが、方向性として発表させていただきました。その中に、金沢美術工芸大学を金沢大学工学部跡地への移転という一つの金沢市の考え方を発表させていただきました。当然今日いらっしゃる議会の皆さんを初め、各方面からいろんなご意見、ご提案などもいただいているところであります。

さきの9月議会で、石川県議会で知事さんから、県立図書館の移転も工学部跡地を視野に入れて、というご報告がありました。もちろんいずれも、先ほど申し上げましたように、予算の裏づけであったり、地域の皆さんのご理解であったり、また議会のご承認ということがありますので決定というものではありませんが、県、市ともに一つの方向性を出させていただきました。今日、この後いろんなご意見も出てくるかとも思いますし、またそれ以外のことについても地域の様々な課題についての意見交換ができればと思っています。

また、レジュメの6番目に討議とあります。事前にいただいたテーマについての意見交換ももちろん大切なことではあります。時間の許される限りいろんなご意見を聞かさせていただければと思います。その場ですぐお答えができるものもあれば、もしかしたら宿

題として我々も持って帰らなければいけないものもあるかもしれませんが、そういうことも踏まえていろんな意見交換ができればと思います。有意義な時間を皆さんと一緒に過ごさせていただければと思います。

本日は本当にありがとうございました。

(2) 地域代表あいさつ

【崎浦地区町会連合会 会長 野脇 格 氏】

野山もまだ錦秋にはちょっと早いようでございますが、暦の上ではもう既に晩秋という、こういう季節になりました。9月30日から10月1日にかけて、金沢では珍しく強風が吹き荒れました。しかし、大きな災害もなく何ら支障がないということですので、金沢というところは本当にいいなとつくづく感じている次第でございます。

さて、今日の「ともに考えよう まちづくりミーティング」に大変多くの皆さん方にお越しいただきました。ありがたく思っています。そして大変お忙しい中、山野市長さんを初め、金沢市の幹部の局長さん、わざわざお出向きいただきまして、今日私どもが願っている、あるいは提言する問題などにお答えする機会を設けていただいたことは大変ありがたいと思います。

こうした試みは、既にご存じかと思いますが、当該地区ではたしか平成21年11月28日の「みんなで語ろう わがまちトーク」を最初といたしまして、そしてその2年後に、23年の10月1日ですか、山野新市長さんをお迎えして「ともに考えよう まちづくりミーティング」ということで、今日と同様の表題でこの地域の課題について討議させていただきました。そして今日、引き続いて同じ形で参集いただいて討議できることは、地元にとっても大変ありがたく、特に小立野、田上、崎浦の各諸問題について市当局と討議できるというのは、この1年の間でもめったにないことなので、今日は大変有意義な会議になると思っています。

ところで、今年3月に、待ちに待った新幹線が開業いたしました。金沢駅のみならず市街地のあちこちで本当にたくさんの観光客の皆さんが金沢へ参りました。日頃、駅構内は通勤時を除いて大変閑散としているのが、今までの金沢駅でございました。ところがこの開業以来、各観光地やいろんなところへ歩いたり、公共交通機関を使ってたくさんの人たちが集まって、本当に金沢もすごくなったな、大変賑わったな、いよいよ都会並みになったなという気持ちでいつもウキウキしている次第でございます。しかし一方では、ホテル

の空き室がないということで、ところによっては急激に値上げをしたために、今まで金沢が好きで度々訪れていた観光客、特に年金生活者がこれでは金沢へ来られない、物価が高過ぎてもう来られない、ということを経済新聞紙上などで見ると、本当に胸が痛くなる思いがいたします。なかなか難しいとは思いますが、金沢市で指導して適正な価格にできないか、と思います。適正な価格で来られた外国人を含めた皆さん方をおもてなしすることは、リピーターを増やすことになるので、この賑やかさがもっともっと続くと思います。できればその指導をお願いしたいと思います。

最後になりましたが、来月15日に金沢マラソン2015がいよいよ開催されます。聞くところによると13,000名からのランナーが参加すると。そこには外国人もたくさん走るということで、秋の気の中、市中を駆けめぐるその壮観さ、これは思っただけでもワクワクするような、そんな感じがいたします。初夏の百万石まつりと同様、金沢マラソンが秋の行事として定着していけば本当に素晴らしいことになると思います。この3地域もマラソンコースになっていますので、どうぞ皆さん方もご近所の方をお誘いして応援に駆けつけていただきたいと思います。

最後になりましたが、金沢市長のご挨拶にもございましたように、世界の交流拠点都市金沢重点戦略計画を取りまとめて、平成24年から施策に入っているようでございますが、その一つの第2次金沢交通戦略の説明会が今月の19日に、ここ小立野公民館でございますので、ぜひ皆さん方、大勢の方お出ましいただいて、金沢の戦略の一つである交通についてお聞きいただければ幸いです。

それでは、皆さんが抱えている諸問題についてこれからご討議いただきたくお願いし、ご挨拶にかえさせていただきます。今日はよろしくお願いたします。

(3) 地域課題の説明、課題に対する市の方針等の説明、討議

①住み続けたい、小立野を目指し（小立野）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

②地域の活性化と歴史遺産の活用（崎浦）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【崎浦地区町会連合会】

2年ほど前に交通量調査を、工学部の移転に伴って県が大々的にしました。今のお話のように、県とこれから協議するというお話ですが、県の交通量調査を含めて、市がその情報を共有しているのかどうか。ただ、あのときは工学部の移転をする、まず道路だと知事さんも議会で説明をされ、そして交通量調査をされたんです。それを私どもは、もうすぐ道路ができるな、と実感を持ったんです。しかしその後はナシのつぶてです。一向にどうなっているのかわかりません。したがって、当時はポーズだけだったのかと。交通量調査を大々的にしたんですよ。そういうことを含めて、今改めてアクセス道路というお話をさせてもらっていますが、少なくとも一つの経過があって、そんな中で、それは県だけのものなのか、市と県が協議しているのかどうか、そこあたりでこれからの進め方も違ってくるのではないかと思います。確認をさせてください。

【浅川土木局長】

県が交通量調査したことについては、市も当然、情報共有しています。県の議会でもそのことについてはお尋ねがあったことも聞いていますし、実際、かなり通過交通も多いということで、道路整備がなされれば細街路への通過交通がかなり減るんじゃないかというところも県議会の中でも県が報告していますので、そういった趣旨を踏まえながら県と一緒にどのような道路整備がいいのか、跡地利用の中で検討しています。どういう形がいいかということが決まらない中で、まず道路整備だけを先行するというのは、なかなか難しいと思っています。

【崎浦地区町会連合会】

2年経っているんですが、その後、一向にアクセス道路の話が伝わってこないものから、あえて今、話を出しました。県の調査したものが、市へ連絡が行っているのかどうかを含めて話を出した、という経緯があるわけです。

【相川都市政策局長】

少し補足させていただきますと、おっしゃるとおり、計画段階で企画部門と土木部門と、県と市それぞれの立場がございしますが、その調査をしたときには、道路構造も含めて技術

的なことがある程度ないと、道路ができるかできないかという調査も、交通量調査と含めてあったのですが、9月県議会で県が今から、というお話もありました。施設の配置も含めて、交通量をどのように緩和していくのかということが大変重要な課題であることは、県も市も同じでして、そのことを踏まえて、一步一步、県と連携をとりながら皆さん方のご要望に沿えるように頑張ってみてまいりたいと思いますので、よろしくをお願いします。

【崎浦地区町会連合会】

ありがとうございました。よろしくをお願いします。

③地域・町会と学生との共存・共生について（田上）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【田上校下町会連合会】

先ほどご答弁いただきましたが、大学門前町として協議会で一生懸命活動しても、市からの補助金は20万円です。それが5年間で打ち切りですから、それは止めたなら止めたんですが、学都ということ言う以上は、もう少しやっぱり前向きにどうしたらいいのかと。私達の地域には1万人ほどの学生がいますが、ほとんどの学生はこの4年間、アパートとコンビニと大学で生活できます。そこを地域の中で学生の皆さんとどのように交流しようかと模索しています。そのことをまず考えてほしいなど。ほとんどの学生は無関心です。どうでもいいんです。だから20万円も出ないのであれば、私もそろそろやめてもいいかなと。関心のある人だけ、どのようにピックアップして対応するかを考えていかなければ、と思っています。

もう一つ、今後、18歳から選挙権を行使できるので、県の教育委員会等では高校への出前講座があります。しかし、大学生でも18、19歳の方がいますので、市としても投票率を上げる方法も兼ねながら、出前講座に行ってもっと政治・社会に関心を持ってもらえる取り組みをぜひ考えていただきたい。高校は市立工業と県立工業で出前講座するという事は聞きましたが、大学生について、もう少し考えてほしいです。

さらにはもう一つ、ぜひアドバイスとご検討をいただきたいのが、27年度の文科省の地（知）の拠点大学による地方創生推進事業が採択されました。金沢大学を中心とした県内

の7つの大学があり、自治体としては県も金沢市も協力・協働機関として入っている。そのことをどう考えるのか。その中では、卒業者の10%を地元で就職してほしいという思いが込められた地方創生の考え方になっています。その場合、金沢市はどうするか、私たちの地域と大学と、協議会をつくりながら、どう対応していくか、それも考えなければいけないと思います。

先ほど答弁ありましたが、市民交流館にコーディネーターがいますよ、それを活用してください、という時代ではないです。地方創生のためにどうするのかという観点で論議しないといけない、そんな時代に入ったと、私は思っています。金沢市のビジョンがあり、本当にそのとおりになるのか、それは今からの課題ですが、そのビジョンの中に大学が考えていて、金沢市も入っていて、さらに地域も巻き込んでいこうという動きがあるんです。私も少し入ったのですが、なかなか難しい活動で、誰がコーディネートするのか、誰が役割分担をもってしていくのかという課題がありますので、今そんな時代に入ったということを含めて一度ご検討いただきたいと思います。

【山野金沢市長】

幾つか具体的なお提案もございました。

今、金沢市では、地方創生のための総合戦略をまとめているところです。漠然とまとめるのではなく、幾つかの課題を明確にしながらまとめているところで、その特徴、個性の一つが、先ほど出ました学都、学生さんが多いまち、その個性を活かしながら総合戦略を組み立てているところです。まさにその真っ最中でありますので、ご提案していただいたことも踏まえて、いま一度精査しながら取り組んでいきたいと思っています。それをまとめて絵に描いた餅になっても何にもなりませんので、また地域の皆さんにも相談に乗っていただきながら具体的な取り組みも進めていきたいと思っています。

貴重なご意見、私も含めて職員も、地元の皆さんの今を、改めてしっかりとお聞きしましたので、対応させていただきます。

【田上校下町会連合会】

先ほどのゴミ問題ですが、局長さんがお話のとおり、私の町会が当事者でございます。前の市長さんも住んでいるところで、市長さんがまだ現職のときから一番不法ごみが多いところで有名だそうです。

星稜大学だったと思いますが、卒業時期になると、先輩が後輩に冷蔵庫とかを譲り渡すという話を聞きました。金大や北陸大学は、そういうことができているのか。もしできない場合は、不動産業者や市が中に入ってそれを斡旋できないかということです。

今年の春ですが、リサイクル課には大変お世話になっています。4台ぐらい冷蔵庫がずらっと並んでいたのを持っていってもらいました。次の日、また4台並んでいました。そういうことが続きます。使えないわけではないので、それをうまく後輩に使ってもらおうか、そういう形ができないか、ご検討をよろしくお願いします。

【蚊戸環境局長】

学生の卒業生が下級生、新入生に家財道具や生活用品をリースする、そんな試みは金沢大学で実際されていまして、星稜大学もそれに続く努力がされようとしているところで。残念ながら、他の大学ではまだそういう試みはされていません。

私ども前々からそのような形がとれないか、大学側に依頼をしているところですが、引き続き、こういう形で取り組みに参加していただけるよう、今後も粘り強く説明していきたいと思っています。

(4) 共通課題について討議

①共通課題「若い世代の定住促進」(小立野)

「共通課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

②共通課題「若い世代の定住促進」(崎浦)

「共通課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【野口教育長】

今ほどは大変貴重なご意見ありがとうございました。せっかく今日この会に来させていだきまして、発言の機会が全く予定されていなかったので、何かしゃべっていかないと寂しいなと思ひましてマイクをとらせていただきました。

私も小さいころから金沢のまちでずっと育ててもらいました。小さい頃の小学校の思い

出というと、男の子はソフトボール大会、それから女の子はドッジボール大会があって、地域でまず予選をして、勝ったら市内の大会へ行って、勝ったとか負けたとかいろんな思い出もつくらせていただいたなと思っています。また、虫送りの行事とか、それから、地域によっては若干違いはありますが、獅子舞や太鼓などいろんなことを通してその地域の愛着を深めていく会をそれぞれの地域でやっていたと思いますし、今でもやっていらっしゃる場所、それから今、復活して子どもたちにそれを教えながら地域を愛するということを一生懸命頑張っているところがあります。

今ほど市民局長から、いわゆるジュニアかなざわ検定の話がありましたが、ジュニアかなざわ検定は金沢のすごく広い地域の中での出題になっていて、これも毎年どんどん受験者が増えていまして、昨年度と今年度を比べると500名ほど増えているのですが、金沢全体が広いので、もう少し狭めて自分の地域、エリアの中で問題を考えて検定をやっているところもあるようです。そんなノウハウにつきましてもたくさん情報を持っていますので、ぜひ市の教育委員会にもお声かけいただいて、もしよろしければ一緒に創成的なことも深めることができたらいいなと思っています。

あわせて、このジュニアかなざわ検定以外にいろんな助成もさせていただいてまして、地域に関係するものでは、たとえば「元気いっぱい子どもコミュニティ推進事業」というものを行っています。幾つかのプログラムをこなしていただくことが条件になりますが、ぜひ地域を愛する子どもに育ててほしいということも含めて、ぜひご活用いただきたいと思っています。

金沢市としては、来年度から金沢型学校教育モデルをスタートさせていただきます。その中で、これまでいわゆる金沢「学びタイム」ということで地域のことを勉強していましたが、さらにそれを拡充しながら「金沢のふるさと学習」というタイトルで学ぶ内容をさらに深めて金沢を愛する子どもを育てていく、そんな事業に力を入れてまいりたいと思っていますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

③共通課題「若い世代の定住促進」(田上)

「共通課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、
レジュメを参考願います。

【野口教育長】

今ほど田上小学校のことについて、いろいろとお話がありました。この件につきまして、3月の議会の折にも小間井議員からもご質問を頂戴しています。

私ももともと小学校の校長を務めていまして、歴代の田上小学校の校長も仲のいい友達なので何回も学校に行かせていただいていますし、実は先般も学校に伺いまして、学校の現状は自分なりによく理解しているつもりです。体育館だけの問題ではなく、教室の数、それから給食のワゴンプールの位置とか、いろんな課題があることはよく認識しています。また、先ほどもお話にありましたように、朝霧台の子どもたち、それから太陽が丘の子どもたちのこと、さらにもっとその先にある子どもたちの人口の増減の問題とかいろんなことを踏まえながら、今後何らかの考えをつくっていく必要があると思っています。

これはもちろん地元の方々もそうですし、学校も、もちろん教育委員会もそうですが、お互いに知恵を絞りながらどういう方向が一番いいのか、今後また協議させていただいて、いい方向をつくっていきたいと思っています。

今日はご指摘いただき、ありがとうございました。

【相川都市政策局長】

市営住宅の隣接地の用地のことかと思います。宅地化が進んでまいりまして、大学の門前町の位置づけの土地ですので、これから市全体にとって、地元にとってどんな形の目的がいいのか、改めて重点戦略計画を含めて研究させていただきたいと思っていますし、土地として貴重であることの認識は市として持っていますので、今後もう少し研究を深めさせていただければと考えています。

【崎浦地区町会連合会】

せっかくの機会ですので、土木局長さんにお尋ねしたいのですが、私どもの崎浦地区に館山があります。そこから辰巳町へ通ずる道路、犀生中学校、末浄水場の裏側になります。その道路はある程度完成しているのですが、ただ1点、谷のところで架橋しなきゃいけないと思いますが、何年間かそこでストップしたままになっている。その後の状況は私も把握していないのですが、一体いつ工事にかかれるのか、いつ完成するのか、今までの課題とはちょっと違いますが、少しお考えをお聞かせください。

【浅川土木局長】

今のお問い合わせの道路は、土清水の区画整理のところから上辰巳方面に抜けていく道路だと思います。その道路につきましては、もともと、都市計画道路とは違って、地元の皆さんと相談しながら、こういったところに道路があったら末町方面とのアクセスもよくなるということで計画してつくってきた道路です。

一般的に都市計画道路のように都市計画法で決定した道路は、もしそこでどうしても土地を売ってくれない方がいた場合、最終的に法的な措置で、その土地を取得して道路をつけるといことになります。一方で、皆さんと相談をしながらつくっていく道路というのは、土地を強制的に取得する、というような道路ではなくて、皆様の協力を得ながら道路をつくっていく、そんな性質のものであります。

たまたま今回の道路はあまり建物のない中を走っている道路であります。建物のあるところでも同様の手法で実際に道路をつくっている場所はいっぱいあります。どうしても個人の土地が関連してきますので、ご協力をしていただいた上で道路をつくっていくこととなります。

今のお問い合わせの道路については、まずご協力いただけるところから順番につくってきているわけですが、最後の橋のところに来て、課題があつて、まだご協力いただけない状況もあります。その点について、いろんなことが積み重なってなかなか進んでいないということもありまして、市が強制的にその土地を取得してつくるといことは難しいという中では、その土地をお持ちの方と何とかご協力いただけるようにご相談しながらやっているとありますので、一日も早く道路ができるように頑張りたいと思います。またご関係の方がいらっしゃいましたら一緒にご協力いただけたらと思っていますので、よろしく願いいたします。

【小立野町会連合会】

1点だけお願いという形で発言させていただきたいのですが、私も中学校の統廃合の件で小立野小学校での説明会に行かせてもらいましたし、あと小中一貫教育の会、文教会館であったときも行かせてもらいましたが、我々の地区の紫錦台中学校について、城南地区の小中学校などとの統廃合が検討されたりされなかったりという状況にあるとお聞きしています。

この地区に若い人が住むというときには、中学校があることが大変重要であると思いま

すし、それは先ほどご紹介させていただいた「生活しやすい立地条件」として重視する点の2番目が「通勤通学のしやすさ」ですし、4番目が「子育て環境の充実度」ということですので、小立野地区が市として定住促進させていく地域だと認識いただいているのであれば、ぜひ我々としては、中学校は残してほしいということを少年連盟のお母さん方からも言われていますので、発言をさせていただいたところでございます。

お答えとかはないと思いますので、ぜひ検討をお願いしたいと思います。

【野口教育長】

どうもありがとうございました。

金沢市内の中学校の通学区域のあり方につきましては、2年ほどかけていろんな審議をさせていただいて、この3月に検討会から提言をいただいております。その提言を基にして、今回、中学校の通学区域の再編計画をつくらせていただきました。その中で城南中学校と紫錦台中学校の統合について、その考えを少し織り込みましたが、根底にあるのは南小立野小学校の子どもたちが城南中学校と紫錦台中学校に分かれて進学をしているということ。やはり同じ小学校の子どもたちは同じ中学校へ行けたらいいというのは、一つの願いでもありますし、もう一つは、両方の中学校の規模の適正化が図られることによって、先生がその教科の責任を持って子どもたちの指導をしていく、そのことが一番大事ではないかということで、今般そういう形の計画を案としてまとめさせていただきました。

ただ、これまでもいろんな地域に入らせていただいて統合や通学区域の変更等についてお話をさせていただきましたが、地域コミュニティにとってはとても大事なことなので、これはすぐに解決できるとか、すぐ進めるような乱暴なことはしないでおこうと思っています。しっかりとその時期が決まりましたら地域に入って、ゆっくりとご説明させていただきながら意見交換をして、そしてお互いに納得しながら進めてまいりたいと思っていますので、また今後ともご協力賜りたいと思っています。

よろしく願いいたします。

(5) 市長まとめ

【山野金沢市長】

いろいろ貴重なご意見いただきまして、ありがとうございます。

私から3つだけ、3つだけと言いながら3つもありますけれども。

1つはレジュメの15ページ、先ほど崎浦地区町会連合会の方からお話のあった地域愛を強くするというのですが、私は長坂3丁目に住んでいます。子どもは長坂台小学校でした。恥ずかしながら、子どもが学校に行つて初めてわかつたことですが、長坂台校区はおもしろくて、年度末に、子どものテーマですよ、PTA、少連、児童クラブや学童野球もあります。子どもに関わる会の方たちが一堂に集まるんです。一堂に集まって新年度の予定、たとえば野球でしたら、試合なんて長坂台小学校だけで決められませんから、でも既に決まっているものがある。既に決まっている行事をお互いに全部出し合う。お互いに全部出し合つて、お互いの行事はできるだけ長坂台小学校の子どもが全部参加できるように、結果的にしないかもしれないけれど、できるようにあえて日をずらしながらやる。そうすることで子どもたちも参加できるかもしれないし、大人も、お父さんやお母さん、また少連のお世話をされている方は当然もう子どもが大きくなつた方もいらっしゃいますが、そんな方たちもお互いにお手伝いできるよう年度末に翌年度のスケジュールをお互いに調整しながら決めることによって、子どものテーマについては地域全体で、野球をしている子、学校行事のPTA、児童クラブに行つている子もそうですし、少連の活動についても参加しやすい環境をつくつていこう、お手伝いする人も参加しやすくしていこうと年度末にしています。これはすごく賢いなと思つました。

「いや、そうは言うけど、なかなかそれは難しい」と言う方もいらっしゃるかもしれませんが、実は簡単。誰かリーダーが一人、声をかければできます。だって、みんなそれぞれの地域のお世話をしている方は、自分の子どもを含めた地域の子どもたちを大切にしていこうと、その思いを持っていますから。いや、もっといい方法があるのかもしれませんが、もっといい方法があつたらそれをすればいいと思つますが、リーダーが声を上げて、「やろうぜ。みんな気持ち同じだろう。同じだからやろうよ」とやれば、僕は多分簡単にできると思つていますので、南小立野小学校、崎浦校下、どんな年代のリーダーがいるかわかりませんが、俺がやろうつて言つてやつてもいいんです。そうすることによって、地域のそれぞれの縦の行事が横につながっていくと思つますから、1つ参考にしていただければなと思つています。これが1つ目。

2つ目ですが、今日はもう時間がありませんが、僕はよく講演を頼まれます。講演を頼まれたら20分とか30分はともかく、小一時間頼まれたら、ここ最近、いつも話しているのが家庭ごみの有料化の話です。今日は局長がいますが、家庭ごみの有料化の話、金沢市の考え方、どうして今なのか、というお話をします。僕の話はそんなに上手では

ないのですが、ご理解をいただけるように努めているところです。

先ほど広報広聴課長からかがやき発信講座の話が出ました。今日は質問出ませんでしたがおそらく関心を持っている方がたくさんいらっしゃると思いますので、ぜひ家庭ごみの有料化を含めた金沢市のごみ処理、環境施策について話を聞かせてくれと、これこそ町会でも婦人会でも結構です。そうしていただければ関係局、所管から丁寧な説明をさせていただきますし、特に家庭ごみの有料化については自分たちもすごく関心を持っているから、特に丁寧に説明をしてほしいとぜひおっしゃっていただければと思っています。

先ほど重点戦略計画の話をしました。方向性は決めましたが、地域の皆さんや議会の皆さんのご理解がいただけないとやることはできません。教育長も先ほど小中学校の統合の話しましたが、教育委員会で勝手にやるわけではありません。常に地域の皆さんと意見交換をして、話し合いながら、ご理解をいただきながら一緒に進んでいくテーマだと思っていますので、特に家庭ごみの有料化は何度も申し上げますが、新たな負担をお願いすることになりますので、ぜひお声かけをいただいて丁寧な説明をさせていただく機会をつくっていただければなと思っています。

最後、3つ目になりますが、今日発言できなかった方もたくさんいらっしゃると思います。アンケートに答えていただく方もたくさんいらっしゃると思います。それでもなかなか言いづらいなという方がたくさんいると思います。僕は自分のブログも、自分のフェイスブックも、自分のツイッターも自分のメールアドレスも完全にオープンにしています。完全にオープンしていますから、この件はみんなの前では言いづらい、紙にも書きづらいという方がいらっしゃれば、市長に言いづらいということはあるのかもしれませんが、今言ったように、僕は全部オープンにしていますから、僕宛てに送っていただければと思っています。全てに返事はします。返事はしますが、全てに対してご満足のいただける返事ができるかどうかはともかくとして、必ず返事はしますので、ぜひ言いづらいという方はそういう形で意見も聞かせていただければと思います。

今日は皆さん、お疲れのところ、ちょっと時間も過ぎてしまいましたけれども、本当にありがとうございました。